

ジャカルタ (インドネシア語: Jakarta) は、インドネシアの首都であり同国最大の都市。ひとつの市単独でジャカルタ首都特別州 (Propinsi Daerah Khusus Ibukota Jakarta) を構成する特別市である。

人口は950万人を超えており、2016年の近郊を含む都市圏人口は3,120万人と、東京都市圏に次いで世界第2位[2]。世界屈指のメガシティであり、東南アジア有数の世界都市でもある。東南アジア諸国連合 (ASEAN) の事務局を抱える。

名称

古くはスンダクラパ (Sunda Kelapa, 397年 - 1527年) と呼ばれ、その後ジャヤカルタ (Jayakarta, 1527年 - 1619年)、バタヴィア (Batavia, 1619年 - 1942年)、ジャカルタ (Djakarta[3], 1942年 - 1972年) と変遷した。また、ジャガタラ (Jacatra) と呼ばれ、オランダとの交易を持った日本では、江戸時代以降この名が定着し (ジャガイモもこの名に由来する)、ジャカルタという都市よりジャワ島全体を指す呼称として用いられた。

ジャカルタの名称は、梵語ジャヤ (偉大なる勝利) + カルタ (街) の二つの単語から作られた合成語が起源である。

ジャカルタ首都特別州は外務省の呼び名であるが、同市と姉妹都市関係を結ぶ東京都ではジャカルタ特別市と呼んでいる。

2010年の人口調査の結果では、ジャカルタの人口は958万人となっている。この結果、ジャカルタの人口密度は14,464人/km²となり、世界で9番目に人口密度の高い大都市となった。

経済

日系企業

日本企業が多く進出し、自動車、オートバイ、工業製品などの生産を行っている。日本企業の工場は、タンジュンプリオク、プロガドゥンなどのジャカルタ行政区内やジャカルタの東側に隣接する、西ジャワ州ブカシ県に多く建設されている。都市部の人件費や物価の高騰から2000年代は東側に進出する傾向が強まり、中でもチカンベック高速道路沿いには日系商社が開発した工業団地が集中し、カラワン県などの工場団地に多く工場が建設されている。

地元TV局のRCTIが石森プロダクション・伊藤忠商事・バンダイと提携して放送中の特撮変身ヒーロー番組『ガルーダの騎士ビマ』は当市で撮影されている。



Wikipedia より <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B8%E3%83%A3%E3%82%AB%E3%83%AB%E3%82%BF>